

フルティフォーム[®]を 使用する患者さんへ

監修：近畿大学病院 病院長 東田 有智 先生

Flutiform[®]
Aerosol



フルティフォーム[®]50エアゾール

フルティフォーム[®]125エアゾール

CONTENTS

- フルティフォーム®を使用される患者さんへ…………… 3
- フルティフォーム®について…………… 6
 - フルティフォーム®ってどんなお薬？
 - フルティフォーム®は、どのようにして効くのですか？
- フルティフォーム®の使用法…………… 8
 - フルティフォーム®を吸入できる回数？
- フルティフォーム®の吸入方法…………… 10
 - 吸入ステップ
 - フルティフォーム®吸入時にご注意いただきたい点
- フルティフォーム®のご使用にあたって…………… 14
 - フルティフォーム®は、どのような人に処方されるのですか？
 - フルティフォーム®の使用中に気をつけることは？
 - このような症状があらわれたら、医師・薬剤師に相談を！
- 吸入器のお手入れ…………… 17
- フルティフォーム® Q&A…………… 18
- フルティフォーム®の用法及び用量…………… 20



フルブッシュ®装着時

フルティフォーム®を使用する患者さんへ

**フルティフォーム®は、
1日2回*、吸入するお薬です。**

*1回2~4吸入



フルティフォーム®は、
毎日、忘れずに正しく吸入することで、
喘息を治療するお薬です。

喘息症状がない日常生活を送るために

**喘息の発作がなくても、毎日の吸入を
欠かさないようにしましょう。**

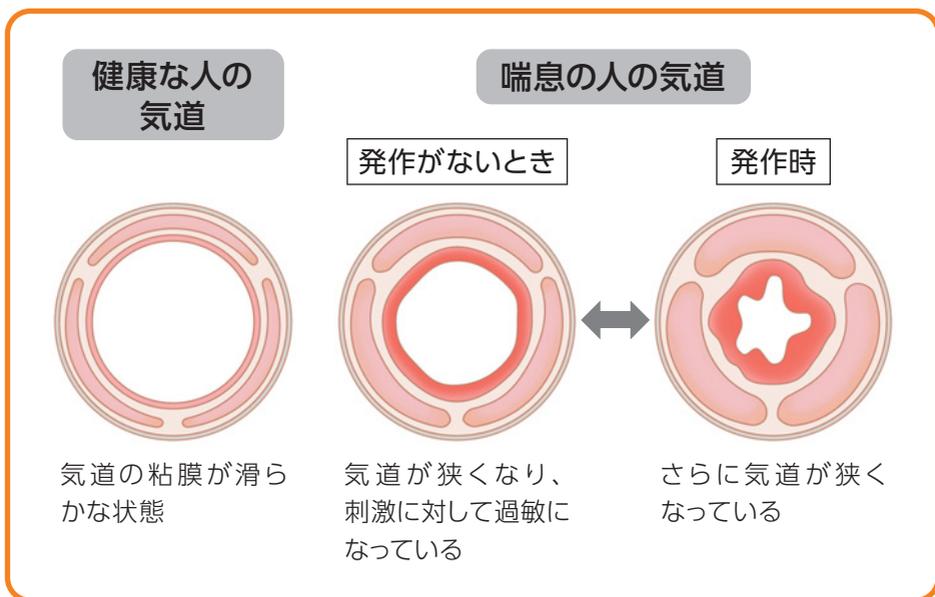
**例えば、健康な歯でいるためには、
毎日朝と晩に歯を磨く習慣が大切なように。**

気管支の炎症を抑え、発作が起こらないようにするためには、いつも1日2回、例えば朝と晩にお薬を吸入する習慣をつくるのが、喘息をコントロールする重要なポイントです。



喘息は、発作のときだけ 気管支の収縮が起こる病気ではありません。

喘息は、気道が慢性的に炎症を起こしており敏感な状態になっています。発作がないときでも、気管支の炎症が収まっているとは限りません。ですから、毎日吸入して、発作がない状態を維持していくことが重要です。



(イメージ図)

毎日の吸入を忘れないためには？

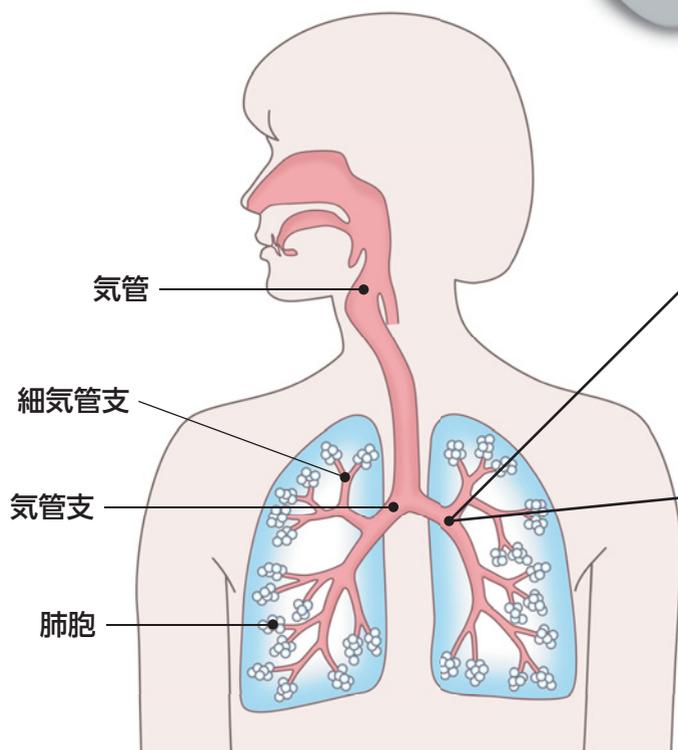
「洗面所に、歯ブラシと一緒に置いておく」ことも、毎日の吸入を忘れないための良い方法です。朝晩の歯磨きの前に吸入する習慣をつくれば、その後うがいもできるので、声がれ (嘎声) などの局所的な副作用の予防にもつながります。



フルティフォーム[®]について

フルティフォーム[®]ってどんなお薬？

フルティフォーム[®]は気管支喘息の治療薬で、ステロイド性抗炎症薬と気管支拡張薬の2つが配合された、エアゾールタイプ(加圧噴霧式)の吸入薬です。

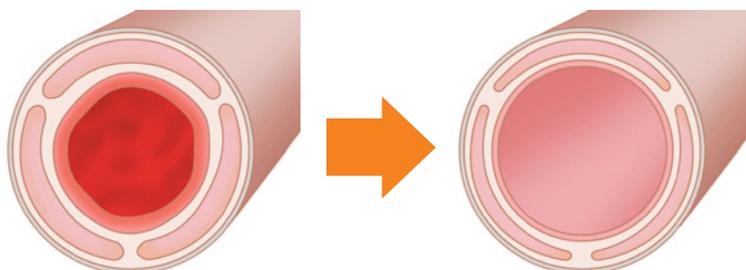


フルティフォーム®は、どのようにして効くのですか？

フルティフォーム®は次の2種類の成分により、喘息による息苦しさや、呼吸がゼイゼイする症状を改善します。

ステロイド性抗炎症薬

気道の炎症を抑えます。

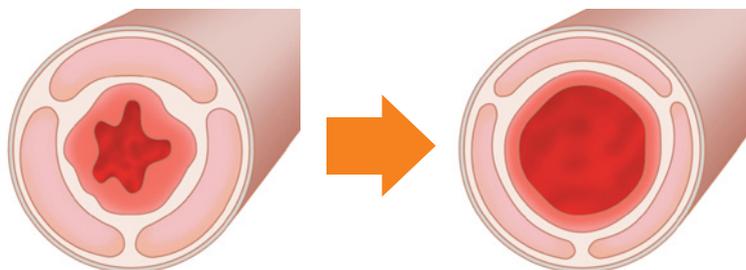


気道に炎症が起きている状態

気道の炎症が収まっている状態

気管支拡張薬

長時間作用するタイプのもので、お薬(長時間作用性 β_2 刺激薬)によって気道を広げ、呼吸を助けます。



気道が狭くなっている状態

気道が広がっている状態

(イメージ図)

フルティフォーム®の使用法

吸入を始める前に、以下の吸入方法の説明をよく読んでから使用してください。吸入方法がよくわからない場合は、医師や薬剤師に相談してください。

各部名称



吸入器の持ち方



吸入器の底に親指をあて、アルミ缶を人差し指と中指で支えます。アルミ缶を逆さまに持たないように、注意してください。

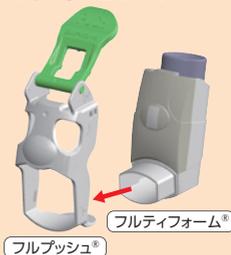
フルプッシュ®(補助具)について

アルミ缶を押しにくい方のために、大きなレバーで操作をサポートする補助具を用意しています。製品には同梱されていないので、フルプッシュ®(補助具)については、医師や薬剤師にご相談ください。

レバーの端を押します。↓



フルティフォーム®をフルプッシュ®の後方からカチッと音がするまで差し込みます。また、取り外して繰り返し使用できます。



フルティフォーム®を吸入できる回数はいくつですか？

お薬の残量・終了の目安

- 120吸入用と56吸入用の2種類があり、吸入器のカウンターに残りの吸入回数の目安となる数字と色が表示されます。
- アルミ缶を押すと、自動的にカウンターが動き、最初は緑色、使っていくうちに黄色、赤色へと変わっていきます。
- カウンターの数字は、下の写真に示すように、数字と背景の色が変わっていきます。
- カウンターが完全に赤色になったら、残りは約20吸入分です。なるべく早めに受診して、新しいフルティフォーム®を準備するようにしましょう。

吸入残量によりカウンターの背景色が変わります。

120吸入用

120・110・100・90・80・70・60・55・50・45・40・35・30・25・20・15・10・5・0



56吸入用

56・45・35・30・25・20・15・10・5・0



**カウンターが「0」になったら
吸入しないでください**

カウンターが「0」になっても、アルミ缶を押すことはできませんが、正しい量のお薬を吸入することができません。

使い終わりのカウンター表示



フルティフォーム®の吸入方法

※フルプッシュ®を装着しています。

キャップの外し方

キャップの左右を持って外します。



新しい吸入器を使用する場合、または3日以上使用していない場合は、右記の操作を行ってから①の手順に進んでください。

吸入ステップ

1



カウンターの色を確認しましょう。

吸入器をよく振ります。

2



4



お薬を吸い込んだ後は、吸入口を口から離し、できるだけ3秒以上、息を止めてください。

5



吸入器をよく振ります。



吸入器を体から離してレバーを押し、4回空噴霧します。

4回
空噴霧



●アルミ缶やレバーを押すときは、まっすぐに立てて操作してください。

吸入器をくわえる前に、軽く息を吐いてください。

3

シュッと薬剤が出るまでしっかり押ししてください。



吸入口を軽く歯でくわえ、息を吸いながらレバーを押し、お薬をゆっくり深く吸い込みます。

ゆっくり息を吐き出します。医師に指示された回数、①～⑤を繰り返します。吸入が終わったら、キャップをつけて保管してください。

6



吸入後には、必ずうがいをしてください。ガラガラ・ブクブクを2回以上行いましょう。

フルティフォーム®吸入時にご注意いただきたい点

吸入器をよく振る

吸入器を振ることにより薬剤が均一に混ざります。



吸入毎に吸入器をよく振ってください

まっすぐに立てて噴霧する

逆さにしたり、横に傾けたりした状態で操作(缶を押して離す)すると正しく噴霧できなくなります。



傾けた状態で噴霧しないでください

吸入する前に、息を軽く吐き出す

お薬を吸うための準備として息を軽く吐き出します。



軽く息を吐いてから吸入してください

ゆっくり深く お薬を吸う

ゆっくり深く、深呼吸をするように吸うと、肺の奥の細い気道にもお薬が行きわたります。

ゆっくり深く吸入してください



3秒以上 息止めをする

息止めをすることにより、お薬を肺の中に留めておくことができます。

無理はせず、3秒以上息止めをしてください



ゆっくり 息を吐く

ゆっくり息を吐くことで、お薬を肺の中に留めておくことができます。

ゆっくり息を吐いてください



フルティフォーム®のご使用にあたって

フルティフォーム®は、 どのような人に処方されるのですか？

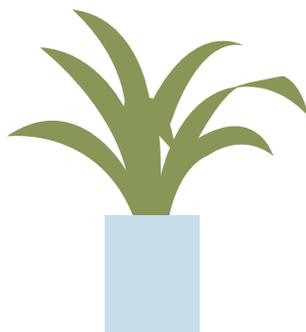
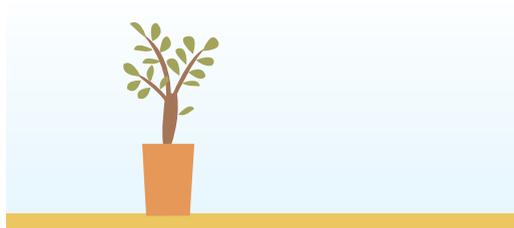
フルティフォーム®は、気管支喘息の患者さんに使用される吸入薬です。この吸入薬は、医師が必要と判断した場合に処方されます。ただし、有効な抗菌薬のない感染症にかかっている人、全身の真菌症にかかっている人、過去にフルティフォーム®に含まれる成分で過敏症を経験したことがある人は、使用することができません。

フルティフォーム®は添加物として無水エタノールを使用しています。
アルコールに過敏な方は医師・薬剤師に相談してください。



フルティフォーム®の使用中に 気をつけることは？

- フルティフォーム®は吸入薬で、飲み薬ではありません。
- 指示された使用量および回数を必ず守ってください。フルティフォーム®は、喘息の長期のコントロールを目的としているため、毎日規則正しく使用してください。このお薬の投与を突然中止すると、症状の急激な悪化を起こすことがあります。自己判断で使用をやめないでください。
- 喘息の症状が抑えられない場合は、できるだけ早く医療機関を受診してください。
- 決められた回数以上を吸入すると、不整脈、頻脈^{ひんみやく}、動悸^{どうき}などがあらわれることがあります。このような症状があらわれたら、ただちに使用を中止し、医療機関を受診してください。



このような症状があらわれたら、 医師・薬剤師に相談を!

フルティフォーム®による治療を受けると、

- 声がかれる(嗄声)^{させい}
- 動悸^{どうき}
- 舌や口の中が赤くなる、ひりひりする(口内炎、咽頭炎)

などの症状があらわれることがあります。

このような症状があらわれた場合は、すぐに医師・薬剤師に相談してください。



吸入器のお手入れ

吸入器を清潔に保つために

週に1回以上、下記の手順で吸入器をお手入れしてください。

- ① キャップの左右を持ち、外します（アルミ缶は外さないでください）。
- ② 吸入口の内側と外側、吸入器の外側を、清潔な乾いた布やティッシュペーパーで拭いてください。
- ③ キャップをつけて保管します。



フルティフォーム®の取り扱い上の注意

- ・ 内側のアルミ缶を、吸入器本体から外さないでください。
- ・ 吸入器は絶対に濡らさないでください（噴霧口がつまる原因となります）。
- ・ 30℃を超える場所に保管しないでください。
- ・ アルミ缶は火中に投入しないでください。
- ・ 使用後は、地方自治体で定められた処理方法に従って廃棄してください。

フルティフォーム® Q&A

Q アルミ缶が押しづらいのですが、どうしたらよいですか？

A アルミ缶を押しづらく感じる場合は、ワンタッチで装着できる補助具(フルプッシュ®)のご用意がありますので、医師・薬剤師に相談してください。



Q 吸入するときは、強く速く吸い込んでも良いですか？

A フルティフォーム®はエアゾールタイプの吸入薬なので、ゆっくり時間をかけて吸うほどお薬が肺全体に広がるのが期待できます。あわてず、深呼吸するイメージで、ゆっくり深く吸い込んでください。

Q 吸入した後は、苦しくても必ず3秒以上息を止めないといけませんか？

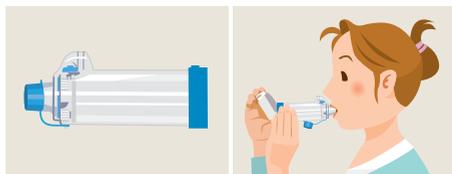
A 吸い込んだお薬は、息止めによって肺の沈着率が上がります。息止めは3秒以上を目安としていますが、無理をしない程度で構いません。

Q 吸入した後のうがいはなぜ必要なのですか？

A 口の中に残ったお薬を洗い流すことで、舌や口の中に白いコケが付いたり、赤くなる、ひりひりする、声がかれるなどの局所的な副作用を防ぐことが期待できます。ガラガラ、ブクブクを2回以上繰り返すと効果的です。

Q 吸入器での吸入が難しいのですが、どうしたらよいですか？

A 吸入補助器具のスピーサー※を使う方法がありますので、かかりつけの医師や薬剤師に相談してください。



※吸入器に取り付ける容器です。吸入器から噴霧されたお薬をこの容器にいったん溜めてから吸入することにより、噴霧と呼吸を合わせる必要がなくなり吸入しやすくなります。

Q 吸入器が汚れたら、水洗いしても大丈夫ですか？

A 噴霧口がつまる原因になりますので、吸入器は絶対に濡らさないでください。清潔に保つためには、少なくとも週に1回以上は吸入口の外側と内側を乾いた布やティッシュペーパーでよく拭いてください。

フルティフォーム®の用法及び用量

フルティフォーム®は、1日2回、吸入するお薬です。毎日、朝晩吸入することにより、気道の炎症を抑え喘息発作を予防する効果が得られます。用量は、あなたの症状にあわせて、医師が決定します。

用法及び用量

医師から指示された用法及び用量に従ってください。

のついているお薬を使います。

フルティフォーム® 50エアゾール	56吸入用	56吸入分のお薬が入っています。	<input type="checkbox"/>
	120吸入用	120吸入分のお薬が入っています。	<input type="checkbox"/>
フルティフォーム® 125エアゾール	56吸入用	56吸入分のお薬が入っています。	<input type="checkbox"/>
	120吸入用	120吸入分のお薬が入っています。	<input type="checkbox"/>

のついている回数を吸入します。

	朝 	夜 
<input type="checkbox"/> 1日4吸入	2吸入	2吸入
<input type="checkbox"/> 1日6吸入	3吸入	3吸入
<input type="checkbox"/> 1日8吸入	4吸入	4吸入

フルティフォーム®は添加物として無水エタノールを使用しています。
アルコールに過敏な方は医師・薬剤師に相談してください。

**「フルティフォーム®の使い方」の動画を
webサイトでご覧いただけます。**



<https://www.ffkyorin.jp/>

- 視聴により発生する通信料は視聴者さまのご負担となります。

管理用コード



キョーリン製薬

改訂年月:2023.7
ICFF0003